

報告（１）市民アンケートの分析結果について

○村上市での住み心地について【問 7～問 13】（P 4～P 10）

回答の傾向	<p>ア 村上市に愛着を持っている人が全体の約 8 割</p> <p>イ 住みやすいと感じている人が全体の約 6 割</p> <p>ウ 住みにくい理由としては、主に以下の点が挙げられている</p> <p>「魅力ある働く場が少ない」</p> <p>「買い物に不便である」</p> <p>「老後の生活が不安である」</p> <p>エ 今後、村上市に住み続けたいと考えている人は全体の 8 割以上</p> <p>オ 市外へ引っ越す理由としては、「仕事」が多い</p>
回答分析による方向性	<p>① 既存企業の支援や新規企業誘致等により働く場を創出する</p> <p>② 公共交通網を適切に整備することにより、日常の利便性向上や、交通弱者となる高齢者や障がい者等の移動手段を確保する</p>

○村上市の暮らしについて【問 14】（P 11～P 15）

回答の傾向	<p>ア 満足度が低く、重要度が高いものは、「就業・雇用の支援」</p> <p>イ 全体的に行政運営に関する項目の満足度が低い</p>
回答分析による方向性	<p>① 既存企業の支援や新規企業誘致等により働く場を創出する（再掲）</p> <p>② 若者の就労支援や企業支援等を行う</p> <p>③ 雇用に関する情報発信により、就業・雇用の支援を行う</p> <p>④ 行政組織・機構を柔軟に改革していくとともに財政の健全化を図る</p>

○今後のまちづくりについて【問15～問20】（P16～P31）

回答の傾向	<p>ア 今後のまちづくりでは、働く場を増やすことや、若者に魅力のあるまちづくり、子育てしやすいまちづくりが求められている</p> <p>イ 安定した雇用の創出には、民間企業の誘致・育成や既存の産業の活性化が重要だと考えられている</p> <p>ウ 市外の人に住んでもらうには、子育て環境の充実や採用・就労の拡大が重要だと考えられている</p> <p>エ 他市町村との連携には、広域医療体制の確保や観光振興による交流人口の拡大が重要だと考えられている</p>
回答分析による方向性	<p>① 子育てのための保育体制や経済支援の充実を図る</p> <p>② 既存企業の支援や新規企業誘致等により働く場を創出する（再掲）</p> <p>③ 医療体制の充実・強化等により、安心して子どもを産み・育てられる環境を整備する</p> <p>④ 観光メニューや取組体制の多様化を図る</p> <p>⑤ 転入者を快く受け入れるためのホスピタリティの醸成を図る</p>

○行政運営や住民参加について【問21～問23】（P32～P38）

回答の傾向	<p>ア これからのまちづくりには、地域と行政の役割分担や民間活力の活用が求められている</p> <p>イ 検討会等に積極的に参加したいと考えている人は5%に留まり、多くは「アンケートやインターネットで意見を述べたい」や「広報等で情報を知りたい」と考えている</p>
回答分析による方向性	<p>① 地域と行政が役割分担をし、適切に行政運営を行う</p> <p>② 民間の活力を有効に活用する</p> <p>③ 広報による情報発信を行う</p> <p>④ より市民に参加してもらえるような効果的な情報発信を行う</p>